

## 県在住ブラジル人生徒の学習支援

### Learning support for Brazilian students living in Kanagawa Prefecture



#### 外国につながる子どもが楽しく集まって学べる居場所を

Providing for a cozy place for the children connected to foreign countries  
to get together and study with

神奈川県は全国で4番目に在留外国人が多い地域であり、中でも横浜市鶴見区は県内で2番目の外国人居住地域である。県在住外国人の支援に参加することで、多文化共生の課題や行政上の課題を学ぶことを目的としている。

鶴見区にある小学校で、外国につながる子どもへの放課後学習支援教室が開かれており、そこにボランティアとして参加し、小学校1年生～6年生の児童の宿題学習の補佐や見守りをする。外国につながる子どもの中には、親が共働きで家に帰っても宿題の面倒を見てくれる人がいない、親が日本語がわからず宿題を教えてもらえないなどの子どももいる。算数や国語の宿題に取り組む児童たちとコミュニケーションをとりながら、必要な知識を教え、やる気を持って取り組めるようサポートを行う。12月には、クリスマスイベントとして、子どもたちと家族へのクリスマスカードの作成を行なった。

また、多文化共生の課題を学ぶため、静岡県の国際交流会と浜松市の国際交流協会（HICE）の方に取材をし、行政の取り組みや現状の課題についての理解を深めた。

在留外国人は国内に増えていくことが予想され、それに伴い、外国につながる子どももますます増えていくと思われる。日本語が不自由な児童や、宿題を見守る存在のいない児童にとって、このような支援の場は学校生活を送る上での支えになる。また、子どもにとって、親や先生以外の大人である大学生との交流は、ロールモデルを見つけ、将来の目標や夢を持たせる意味も持つ。今年度は、募集の時期を越えての結成のため人数が少ない中で運営を行なった。来年以降はもっと多くの生徒が関わるプロジェクトにしていきたい。

- 学生：2名（五十嵐 樹、山内 彩愛 / 担当教員：山崎 圭一
- 連携・協力：NPO法人ABCジャパン、横浜市立入船小学校
- 活動地域：横浜市鶴見区